

臨床現場へのロボットの導入実験

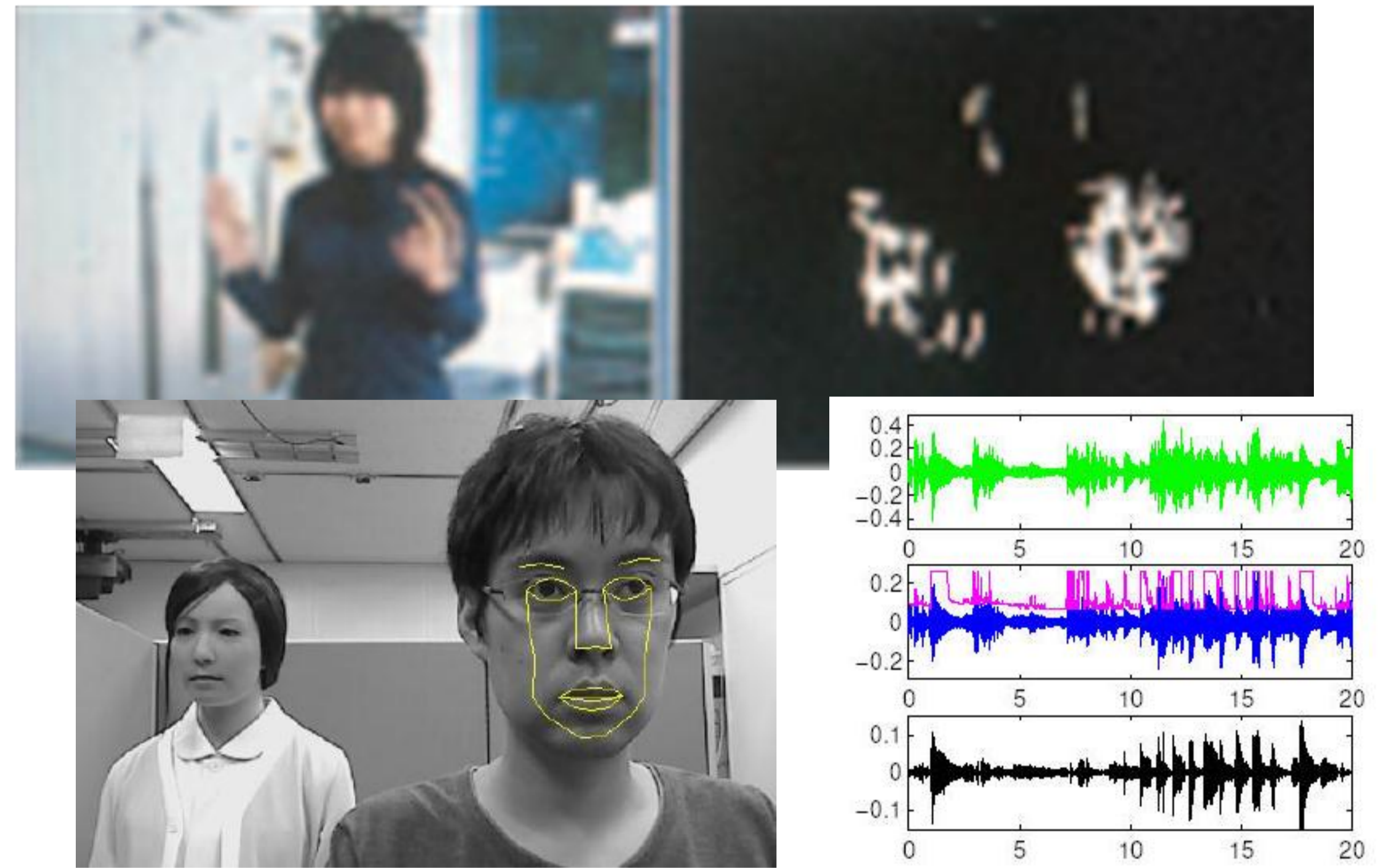
(大阪大学・産業技術総合研究所・東京大学)



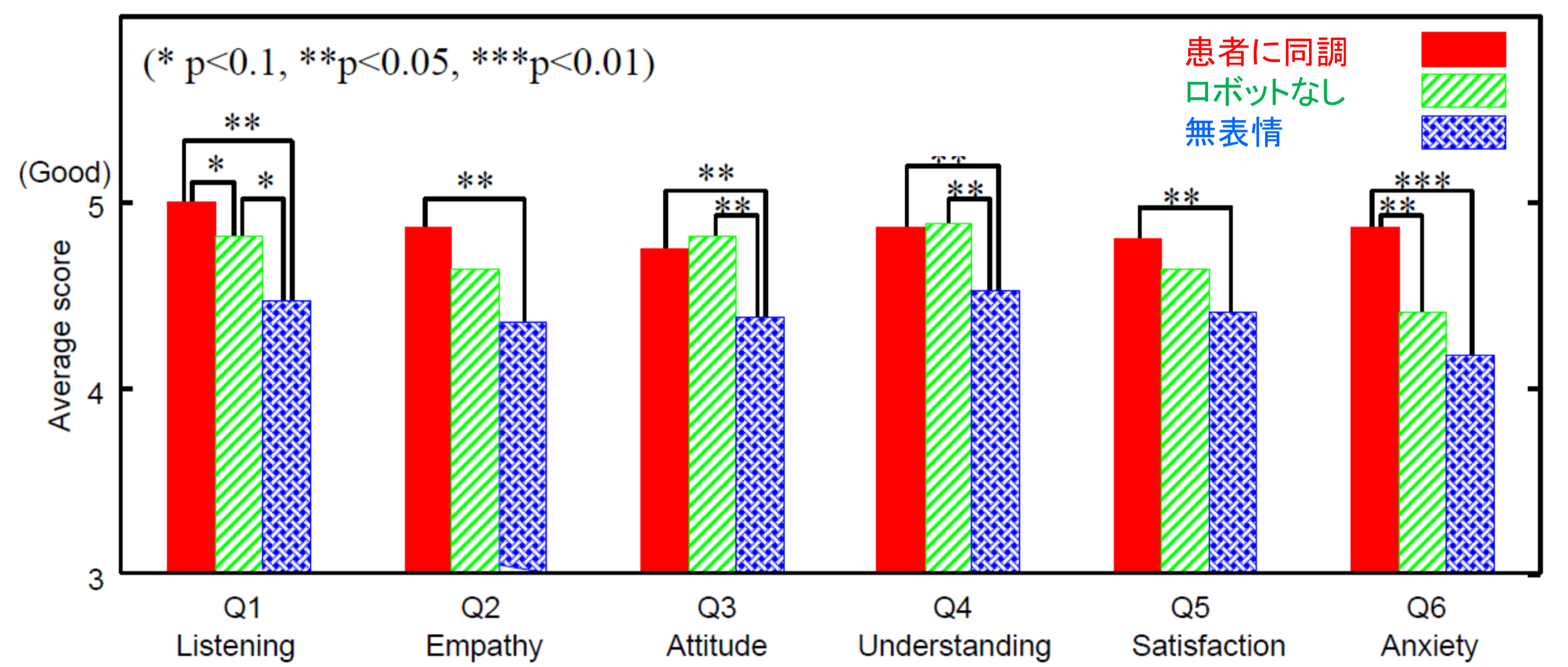
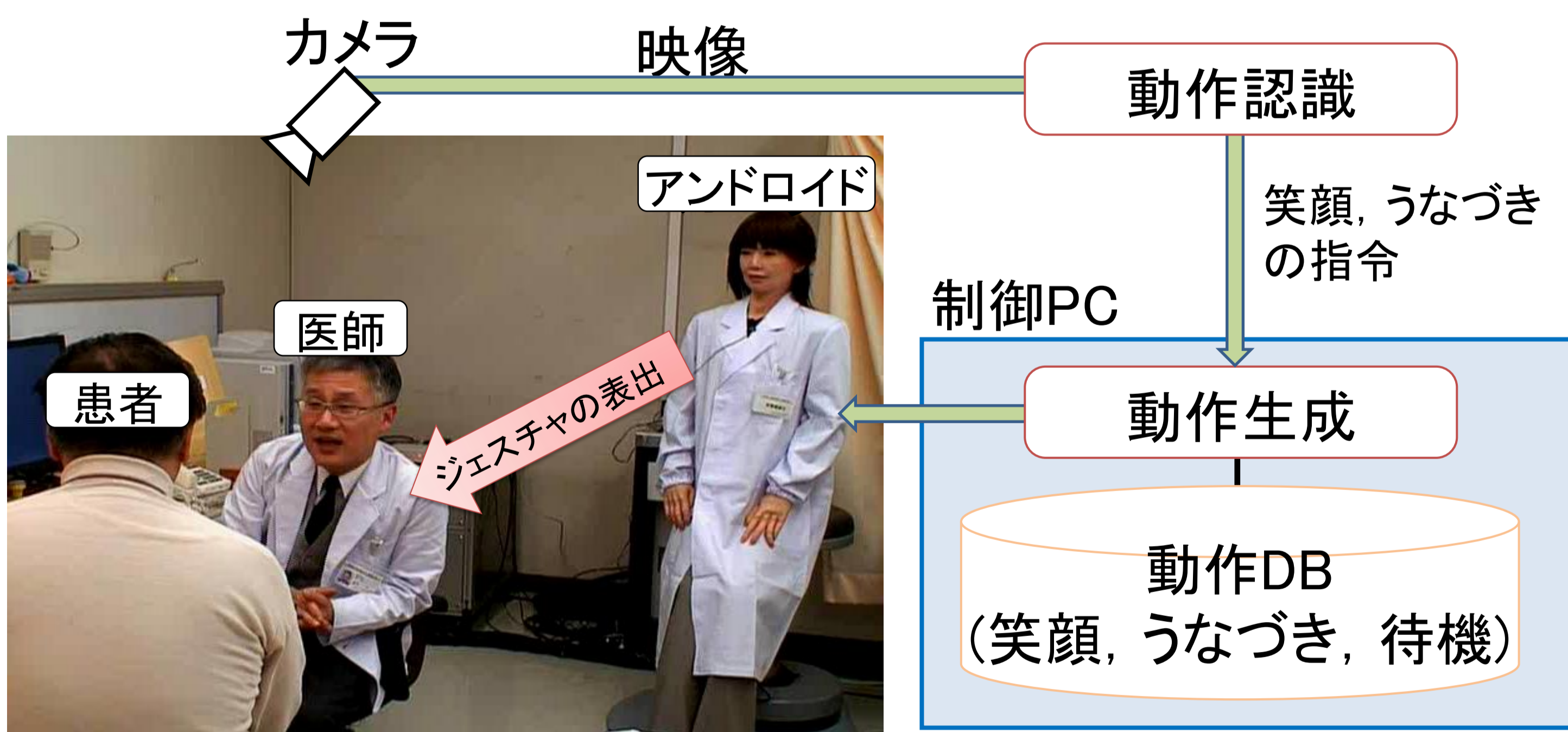
病院は、医師と患者の緊張したフォーマルな会話がなされる現場です。このような臨床場面にアンドロイドを持ち込むことで、患者を安心させ、コミュニケーションを活性化したり、診察の満足度を上げたりする研究を行っています。

自然な振る舞いの生成メカニズムの構築

アンドロイドは人間に酷似した外観を持つため、人間によく似た動きをしないと不自然な存在になってしまいます。そこで、周囲の人の画像や音声などのセンサ情報を利用して、アンドロイドが自動的に表情、頷き、注視、発話などの自然な振る舞いを生成する、動作生成メカニズムの構築に関する研究を行っています。



アンドロイドの陪席によるコミュニケーションへの心理的影響



アンドロイドを病院の診察室に陪席させ、頷いたり微笑んだりする実験を行いました。アンケートの結果からは、アンドロイドの振る舞いを患者に同調させたときに、患者の満足度(先生に話を聞いてもらえた, 先生の話を理解できた, 心配が減ったなど)が最も高いという結果が得られました。

